

ふわふわ
軽くて
ゴージャスな
♡バッグ♡

パフィーファーで作る、 かぎ針とゆび編みの トートバッグ

編み図番号
b
大石啓子
2020.02.13

3玉で
出来ます♡



Col.No
6104



Col.No
6107

たて：約
28cm

よこ：約 38cm

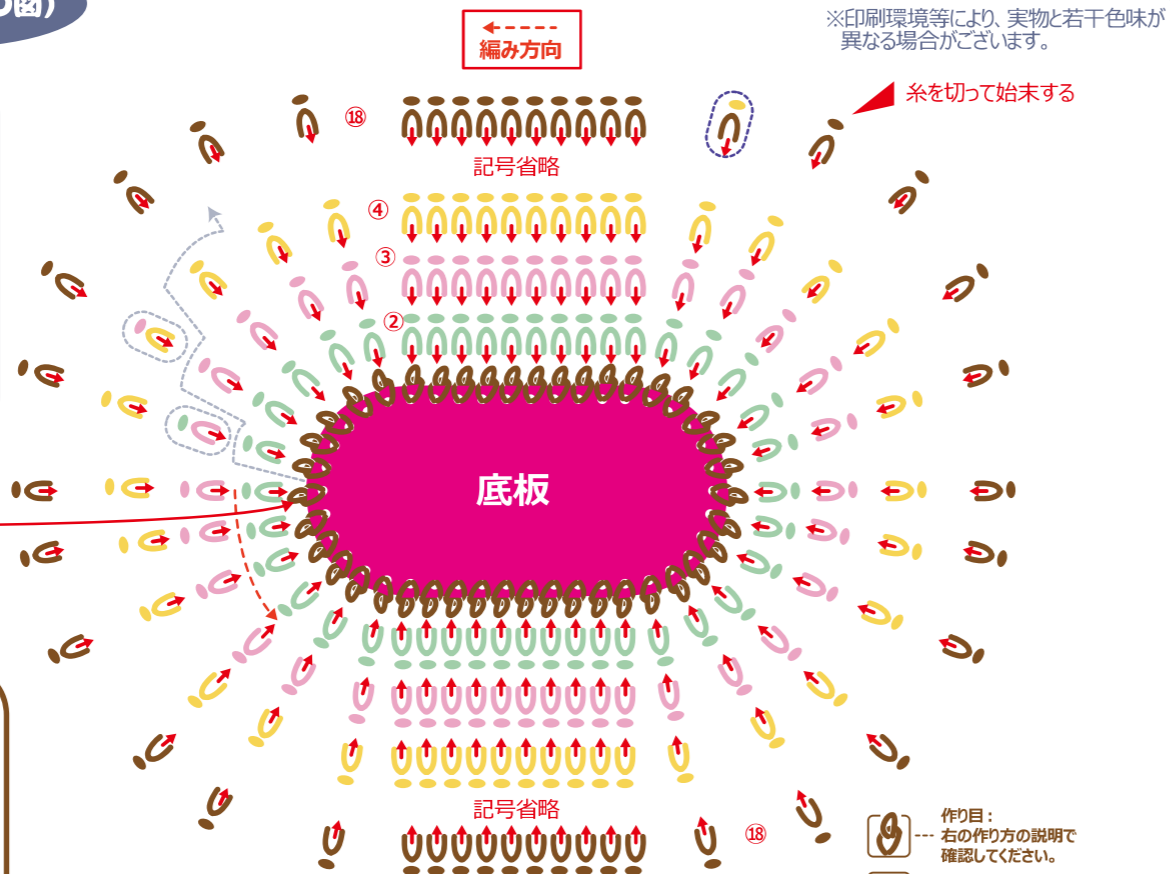
用意するもの

- Puffy Fur 3玉
- かぎ針 (何号でも可)
- 底板1個 (品番: H204-627)
- 持ち手 1組 (ホックハンドル) = 作品使用品番: SWH107
- はさみ
- 目数スリング (無くても作れますが、あると便利です。付箋とホッチキスで代用もできます。作り方の写真を参照してください。)

編み図 (作り図)

段の上がり方:
段の立ち上がりなしに矢印方向に次の段に移ります。
印: ○ →

2段目から、最終の目を次の段の1目めに伏せ留めます。そのため、段の最後の目が1目ずつ右へ移動していきます。
参考画像 (目数スリング)



目の増減表
目数の変更はありません。(段の色分け表)

作り目 (1段目)	42目
2段目	42目
3段目	42目
4段目	42目
...	...
18段目	42目

作り目 (1段目) 以外は最終段まで同じ編み方です。

基本の編み方 (編み図記号: Puffy-a) に詳しい編み方、糸の処理の仕方が記載されていますので合わせてご覧ください。
<http://kyoto-terai.com/puffy/a.html>

- 作り目: 右の作り方の説明で確認してください。
- メリヤス編み: 目を下からくぐらせ (通し)。
- 伏せ留め (縦目・閉じ目): 真横の目を下からくぐらせ (通し) で拾って、目を縦に行きます。

作り方

1 編み方向です。

底板はハマナカ(株)製の「H204-627バッグ底板・だ円」を使用します。目数は42個です。

2 輪の繋がっている部分の細い糸を切ります。

Puffy-FURの編みはじめての2目の輪 (ループ) の中心をカットして→

3 まっすぐな糸

→ まっすぐな糸にします。この糸は最後に糸処理をしますので、置いておいてください。

4

底板の穴にかぎ針を通し、Puffy-FURの目をひっかけて、→

5

→ 引き抜きます。

6 編み方向です。

おなじ要領で底板の42目すべてにPuffy-FURの目を通します。

7

底板をひっくり返します。**4**と**5**で通した目を“くるり”と回して通します。(次: 8/9で説明)

8 【“くるり”部分説明: 1】

通した目の裏側からかぎ針を通し、→

9 【“くるり”部分説明: 2】

→ 目をひっかけて、手前に通します。

10

同じ要領で1周通したところです。これで作り目ができました。
※写真は付箋で目数スリングの代用をしています。

11

2段目を編みます。**8****9**で通した目にかぎ針を通し、→

12

→ 目を通します。

13

一周通したところです。(このあとの段は指で編みます。) 見えている面はバッグの内側です。表を中にして編んでいきます。

14 隣の目

1目め

伏せ留めで目をとじます。1目めをとり、隣の目を1目めの輪の中を通し、→

15

→ 引き抜きます。同じ要領で続けて全ての目を伏せ留めます。

16

2段目の最後の42目まで伏せ留めたところです。

17

42目めをそのまま置いておく。

2段目で伏せ留めた目

42目めの目はそのまま置いておいて、3段目の目を指で通して行きます。
※写真は違う糸 (Puffy・パフィー) で編んでいますが、仕組みは同じです。

18 3段目の1目め

※編み図の「段の上がり方」を確認してください。

2段目の42目め

3段目の目を1周を通したら、17で残しておいた、2段目の42目めの目で、3段目の1目めを拾い、伏せ留めし、続いて1周伏せ留めをします。

19

17 18を繰り返し、18段目まで編めたら、目のループ部分を2個分カットしまっすぐな糸にして目立たないように糸処理をします。

20

ホックハンドルのスナップをはずし、バランスのいい位置の目を通し、スナップをとして完成です。